

青少年ふくしま

福島県青少年育成県民会議

第64号

令和元年12月5日

第41回 少年の主張福島県大会

いしやまみなみ

石山心南さん(喜多方市立高郷中学校3年) 最優秀賞に輝く!

第41回少年の主張福島県大会が、9月27日(金)サンライズともみやで開催されました。

「少年の主張」は、たくさんの夢や希望を抱いている中学生が、日頃抱いている思いや考えをまとめ主張することで、広く社会に目を向ける機会を提供するとともに、大人の青少年への理解を高めることをねらいとして実施しています。

この大会は、国際児童年(1979年)を契機に始められ、今回で41回目を迎えました。毎年多くの中学生が参加していますが、今年度も県内14,571名(177校)の応募がありました。



最優秀賞の石山心南さん

各市町村民会議から120点が推薦され、第一次・第二次審査により選出された代表者16名は、中学生の鋭い感性と素直な思いから生まれる“主張”を会場に訪れた人たちに真っ直ぐに届けました。結果は、次のとおりです。

	氏名	学校名	学年	題名
最優秀賞	石山心南	喜多方市立高郷中学校	3	手話から広がる世界
優秀賞	白岩陽菜	西郷村立西郷第一中学校	3	私の将来の夢
	増井清邦	会津若松市立第一中学校	3	限りある命の中でできること
	矢吹琢朗	郡山市立守山中学校	3	お帰りなさい、ふるさとへ
	守谷花音	二本松市立二本松第三中学校	3	私たちが学ぶ国際理解
	山内萌花	喜多方市立塩川中学校	3	勇気を出して
優良賞	佐藤亜月	伊達市立伊達中学校	3	「集団」という落とし穴
	齋藤瞳	会津若松市立一箕中学校	3	私の「おもてなし」～2020から～
	佐藤茅音	南相馬市立原町第一中学校	3	「そのこ」たちの未来のために
	伊勢崎千慧	郡山市立安積中学校	3	偏見を持たずに
	鈴木沙葵	白河市立五箇中学校	3	もったいない
	齋藤康洋	相馬市立向陽中学校	3	復興大使体験に学ぶ～私の使命
	佐藤柑菜	本宮市立本宮第二中学校	2	「地球」に生きる
	滝田和佳	須賀川市立小塩江中学校	3	優しさの連鎖
	發田沙織	南相馬市立小高中学校	3	群青の町を取り戻すために
	佐藤菜々香	相馬市立中村第一中学校	2	一人ひとりが輝く社会へ

第41回少年の主張福島県大会



最優秀賞の石山心南さんは、この後、北海道・東北ブロックで代表に選出され、12月8日(日)に国立オリンピック記念青少年総合センターで開催される「第41回少年の主張全国大会～私の主張2019～」に出場します。この大舞台でも自分の思いを熱く伝えることを期待しています。

令和元年度(第42回)「福島県青少年健全育成推進大会」開催 ～生かそう、きずな。未来のために!～

令和元年度(第42回)「福島県青少年健全育成推進大会」を、11月20日(水)とうほう・みんなの文化センター(福島県文化センター)小ホールにおいて開催いたしました。開会に先立ち、「オープニングセレモニー」として、福島県立福島高等学校合唱部「声楽アンサンブル」の皆さんに出演していただき、その澄みきった美しい歌声は、300名を超える参加者に感動を与えるとともに、本大会に華を添えていただきました。



県立福島高等学校合唱団の皆さん

式典では、主催者あいさつ(井出孝利副知事)に続いて、県内各地・各分野で青少年育成にご尽力いただいた個人・団体の皆様、「家庭の日」作品コンクールで最優秀賞に輝いた皆様の表彰が行われました。受賞された皆様、本当におめでとうございます。

御来賓の皆様(福島県教育委員会教育長様、福島県警察本部長様)からのご祝辞に続き、「家庭の日作文コンクール」及び「少年の主張福島県大会」最優秀賞受賞者による作文の朗読や発表が行われ、会場からは大きな拍手が贈られました。

当日受賞された個人のご芳名や団体名は、次のとおりです。

I 福島県青少年健全育成条例に基づく知事表彰

○青少年団体の部

福島市子ども会育成会連合会様(福島市)
内谷春日神社太々神楽保存会様(国見町)
富久山卓球スポーツ少年団様(郡山市)

○青少年育成団体の部

東部地区青少年健全育成推進会様(福島市)

○青少年育成者の部

遠藤和臣様(福島市) 佐藤範子様(郡山市) 磯部征子様(会津若松市) 鶴巻重信様(喜多方市)
田中幸子様(相馬市) 船橋まつ子様(南相馬市) 松本重義様(楡葉町) 西山允雄様(いわき市)



II 福島県青少年育成県民会議会長表彰

○青少年指導者の部

渡辺佳恵様(福島市) 齋藤登美子様(福島市) 尾形幸人様(福島市) 熊田公位様(郡山市)
二瓶三郎様(郡山市) 厚美善康様(郡山市) 酒井 薫様(須賀川市) 矢吹晋雄様(須賀川市)
須藤孝夫様(浅川町) 鈴木信正様(白河市) 鈴木 正様(白河市) 蓮田アキ子様(白河市)
佐治映二様(会津若松市) 羽金洋子様(会津若松市) 菅野幸記様(会津若松市) 瓜生敏男様(喜多方市)
持立 剛様(相馬市) 齋藤洋子様(相馬市) 永井清美様(相馬市) 白川秀子様(南相馬市)
山田美津様(浪江町) 田子是人様(いわき市)

○青少年団体・青少年育成団体の部

庭坂地区青少年健全育成推進会様(福島市) 地域安全ヤングボランティア「リバーズ」様(二本松市)
ひろせ梁川太鼓様(伊達市) 国見町ミニバスケットスポーツ少年団様(国見町)
日和田サッカースポーツ少年団様(郡山市) 四丁目子ども育成会様(郡山市) 表郷読書連絡会様(白河市)
少年ボランティア「JUVENILE WATCHERS」(ジュヴィナイル ウォッチャーズ)様(いわき市)

○青少年育成市町村会議の部

福島市青少年健全育成推進会議様(福島市) 白河市青少年育成市民会議様(白河市)

○青少年健全育成功労者の部

島津新二郎様(福島市) 齋藤紀夫様(二本松市) 二瓶裕子様(郡山市) 根本信孝様(白河市)
小林恵美子様(猪苗代町) 大槻富寛様(いわき市)

III「家庭の日」作品コンクール知事表彰(最優秀賞受賞者)

<作文の部>

- 須藤 花歩さん 「かぞくの力」(玉川村立玉川第一小学校 2年)
佐藤菜々香さん 「ぼんだな作りで考えたこと」
(二本松市立東和小学校 3年)
鈴木 芽生さん 「家族に寄り添って」(須賀川市立第二小学校 6年)
清水 朋子さん 「三世代の絆で祖母を支える」
(いわき市立中央台南中学校 2年)



作文を朗読する清水朋子さん

<絵画・ポスターの部>



「ぎょうざをつくったよ」
福島市立鎌田小学校
1年 手塚 政太



「家ぞくで食べるすいかは おいしい」
喜多方市立姥堂小学校
3年 戸田 絢乃



「今日はぎょうざの日」
福島市立松川小学校
6年 日高 友誠



『家族と過ごそう!「家庭の日」』
白河市立白河中央中学校
2年 阿部 希星



「大切なふれあい」
郡山市立郡山第五中学校
3年 佐藤垂梨沙

※「家庭の日」作品コンクール最優秀作文・絵画・ポスターは「福島県青少年育成県民会議」のホームページで紹介しています。 HP アドレス <http://www.fukushima-youth.com/>

「ふくしま青少年育成セミナー」 満席の参加者のもと実施



福島県青少年会館開館 40 周年記念事業として「ふくしま青少年育成セミナー」を、10 月 26 日、講師に県立医科大学常任顧問(前理事長兼学長)の菊地臣一先生をお招きし開催いたしました。会場には参加者約 200 名が詰めかける中、「次代を担う君達へ～『手紙』に込めて伝えてきたこと、伝えたいこと～」と題して御講演をいただきました。先生が『手紙』に込められた思いは「他人に関心を持つことの大切さ」であり、それを「励まし、苦言、叱責、共感」という視点で手紙に託して若者たちに伝えてきました。そして、セミナーでは、これらのことを具体的に経験談を交えて熱く語られました。

「人生は出会いに尽きる」では、良き師に出会うことの大切さを説かれ、「愚直なる継続」の実践では「1 日 3 回廻診・3 原則の徹底(時間厳守、きちんとした服装、挨拶の励行)・帰宅後、本を開く」などが紹介されました。その他にもたくさんのメッセージについて話されました。以下、特に印象に残ったいくつかのメッセージを御紹介します。

- 「地位や年齢とともに求められる役割は変わる」(速く走る人→速く走らせる人へ)
- 「自ら杵をつくるな」(自分で自分の将来像を決めない→それ以上は力を発揮できなくなる)
- 「リーダーは背中で組織を率いる」(言葉ではなく行動で)
- 「人生の評価は己にしかできない」(己の人生の評価だけは、他人にはできない)
- 「信頼関係の確立はまず傾聴から」(聞いてもらっている安心感→信頼関係の確立へ)
- 「目的と手段を取り違えるな」(いつの間にか、目的と手段が逆になっている)
- 「他人への感謝の気持ちなくして、自分への感謝の気持ちを他人に求める事勿れ」
- 「大事な話は Face to Face で」(相互に感情が伝わりやすい)

これらのメッセージは、現代社会のどんな職種の人たちにも通じる内容ではないでしょうか。また、若者を育てる大切な要素が数多く込められているとともに、人としての生き方にも大きなヒントが含まれており、セミナーの参加者に深い感銘を与える素晴らしいセミナーとなりました。

第 4 回「ふくしま青少年育成セミナー」のご案内

講師

医療創生大学教養学部
教授 山本佳子氏

テーマ

「みんなちがって みんないい」
～障がいと個性を考える～

日時

令和 2 年 2 月 15 日(土)
13:30～15:15

場所

福島県青少年会館

定員

50名



「人生を生きやすくするための、良好な人と人との関係について考える」

人は、人との関係を無視して生きていくわけにはいきません。自分を知り、他者について理解を深めることは、若者が、これからの人生を生きやすくするために大きな力となることでしょう。発達障がいや精神障がい等を視点として青少年育成のために大切なことをわかりやすくお話しします。